

京都精華大学
入学予定者のみなさんへ

学びのおすすめリスト

詳細はウラ面を参照してください



合格おめでとうございます。

本学では「Discovery Diary ディスカバリーダイアリー」というワークを入学前の課題にしています。自分が日々興味をもったり、発見したことについてメモしたり、絵を描いたり、調べたり、感想や感動、発見、探究したことなどをクロッキー帳にまとめていく課題です。

自分の日常にある「いいね」をたくさん引き出して、自分を知り、今後の学修の中で自分を紹介する素材にもなります。

そこで、各学部の教員からも「いいね」を紹介してもらいました。「ディスカバリーダイアリー」を作成するときの参考にしてほしいと思います。

ただし、これらは必ずやらねばならない課題ではありません。他学部のおすすめリストも含めて、皆さんの発見や探究に迷ったときの道しるべになり、新たな「いいね」につながれば幸いです。

まず自分の魂が震える時間を再発見し、その魅力を他の参加者とシェアできるような一冊に仕上げてもらえることを願っています。

自分の何気ない毎日の中にある宝さがしをはじめてください。

学長 ウスビサコ

国際文化 学部



おすすめの本
 ◎サコ学長の本（いずれでも） ◎ジャレド・ダイヤモンド『銃・病原菌・鉄』（上・下）草思社
 ◎清水貴夫・寺田匡宏『ブルキナファソを喰う！』あいり出版 ◎小川弘『アフリカのかたち』里文出版
 ◎田村克己・松田正彦『ミャンマーを知るための60章』明石書店 ◎川北稔『砂糖の世界史』岩波書店
 ◎小川さやか『チンギスハンのボスは知っている』春秋社 ◎宮本常一『忘れられた日本人』岩波書店
 ◎好井 裕明『違和感から始まる社会学』光文社 ◎大友良英『学校で教えてくれない音楽』岩波書店
 ◎高橋源一郎『読む』って、どんなこと？』NHK出版 ◎網野善彦『日本の歴史をよみなおす（全）』筑摩書房
 ◎加藤秀一『知らないと恥ずかしいジェンダー入門』朝日新聞社 ◎柳宗悦『手仕事の日本』講談社
 ◎高階秀爾『日本人にとって美しさとは何か』筑摩書房 ◎産経新聞社編『美の脇役』光文社



おすすめの実験
 ◎「気づき」があれば、それをメモっておきましょう。塵（ちり）も積もれば山となってきます。
 ◎自分の好きな本や小説を思いっきり読んだり、好きな映画やアニメを見たり、散歩したりしてできるだけインプットしておいてください！写真やメモをとっておけるとなおよし。
 ◎日本の中のアフリカを探してみよう。百貨店や路面店のフェアトレード商品や雑貨・絵画、募金活動、スーパーの鮮魚コーナーのモーリタニア産のタコでも何でもよいです。
 ◎いま自分が住んでいる地域（都道府県・市町村など）を、5枚の写真を使って紹介してください。



おすすめの場所
 ◎京都探索：京都案内は、中国や台湾のオンライン・ガイドのほうが、日本のものよりはるかに充実。
 ◎龍安寺（京都）、清水寺（京都）、報国寺（鎌倉） ◎古本屋、中古レコード屋、リサイクルショップ



おすすめの本
 ◎西内啓『統計学が最強の学問である』ダイヤモンド社
 高い山に登ればまわりが良く見えるように、部屋を整理すれば気持ち明るくなるように、世の中のデータをどう処理したら役に立つかということ、身近な例をもとに面倒な数式を一切使わず読み物に仕立てた一冊。
 ◎ブルーノ・ムナリ『モノからモノが生まれる』みずす書房
 優れたプロダクト・デザイナーであり、絵本作家でもあり、デザイン教育のイノベーターでもあったブルーノ・ムナリの著作。アイデアを生むためにはその「やり方」を知ることだと語られています。
 ◎A・ダン＆F・レイビエ『スペキュラティブ・デザイン』ピー・エヌ・エヌ新社
 「スペキュラティブ」とは「思索的」という意味。サブタイトルにある通り、「答え」としてのデザインではなく「問いかけ」としてのデザインについての本です。とびきり自由な発想のデザインに勇気づけられたりも。
 ◎ミゲル・シカル『プレイ・マトース』フィルムアート社
 私たちはどういった時に「遊び」を求めるのでしょうか、またその時求めている「遊び」とは一体どんなものなのでしょうか。ゲームを含めそういった「遊び」や「遊び心」について論じられています。
 ◎小方厚『音律と音階の科学 新装版』（講談社ブルーバックス）講談社
 1オクターブ上って、なにが上なの？ ドと1オクターブ上のドの間はなぜドレミファソラシドと8つに区切られているの？ 数学や物理学を通して音と仲良くなる最初の一步がここにあります。



おすすめの実験
 音や音響、聴覚と視覚に関係する、入学前に観てほしい動画をYouTube プレイリストとして集めました。いくつかは映画の予告編です。ぜひ本編のほうも観てみてください。
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLFBXLk4T5RmABkWFZi1nopqZG0ML-8g>



おすすめの本
 人間環境デザインプログラムの学びには、問いをたて、観察し、見つけた課題をデザインで解決を考えることがあります。今回、おすすめする本は、私たちが毎日関わっている環境、社会などに対して意識を向けさせる内容です。手にとって、自分の周りで起こっていることと照らし合わせてみてください。
 ◎山崎亮『コミュニティデザイン』学芸出版社
 ◎齋藤由紀他『京都の町家を再生する』関西学院大学出版会
 ◎広井良典『人口減少社会のデザイン』東洋経済新報社
 ◎仙田満『人が集まる建築 環境 × デザイン × こどもの研究』講談社



おすすめの実験
 自分の周りには何があるの？ 普段意識しない、モノ、ヒト、コトを少しでも意識して見てください。そこには複数の学びがあり、複数の課題もあるはず。この日常の観察を記述することで、人間、つまり自分を取り巻く環境への気づきが生れます。



おすすめの場所
 ◎人が集まるところや公園など。 ◎古くなっている家（コミュニティ）などの再生例。
 ◎過疎地へ足を運び、人々がどのような生活をしているかを観察。



おすすめの本
 ◎E.H. コンブリッチ『美術の物語』ファインドン社
 世界中の美術を志す人々や美術好きの人々が一度は手にする大ベストセラー。図版を見るだけでも楽しい。
 ◎岡田温司『虹の西洋美術史』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
 絵に描かれた数々の虹の意味を読み解く西洋美術史の入門書。
 ◎寛菜奈子『めぐるめく現代アート』フィルムアート社
 イラスト満載なので、誰もが楽しく夢中になれる現代アートガイド。
 ◎スージー・ホッジ『5歳の子どもにできそうでできないアート』東京美術
 とにかく図版とデザインが美しいアート入門書。持ってみて、眺めてみて、読んでみて…幸せになれるかも。



おすすめの実験
 美術館やギャラリーへ出かけよう。美術作品を鑑賞し特に気に入った作品や感動した作品をディスカバリー・ダイアリーにイラストを交えて紹介して下さい。感想だけでもOK。



おすすめの場所
 たまには日本の仏像を見るのもいいね。
 広隆寺（半珈思惟像）京都、六波羅蜜寺（空也上人立像）京都、興福寺（阿修羅像）奈良、万博公園（太陽の塔）（国立民俗学博物館）大阪、国立国際美術館（現代アートなど）

メディア 表現 学部

人間環境 デザイン プログラム

芸術 学部

デザイン 学部

マンガ 学部



おすすめの本
 ◎石川九福『漢字とアジア』（ちくま文庫）筑摩書房
 中国で生まれた漢字が、日本では平仮名を形づくった。鬼才の書家が巨視的な視点から語るおよそ2000年の歴史を一気に追体験できる本。
 ◎池村聡『はじめての著作権法』（日経文庫）日本経済新聞出版
 ネットの時代、コピー（コピー&ペースト）を誰もが気軽にやってしまいがちですが、著作物は著作権法で守られています。クリエイターを目指す皆さんは、そのことに怯むのではなく、正しく理解したうえで「世界に唯一な表現」を目指していただきたいです。
 ◎荒井良二『ぼくの絵本じゃあにい』（NHK出版新書）NHK出版
 大人の常識にしばられず、子どものように自由に考え、描くにはどうすればいいか。絵を描くのに大切な感覚が学べます。
 ◎小野明、柴田こずえ『絵本作家になるには』（なるには BOOKS）ペリかん社
 絵本の現場の紹介に始まり、その歴史から絵本作家として活動するまで、心構えなどを詳しく学べます。500冊以上の絵本・児童書を送り出した京都精華大学イラスト学科教員の著書です。
 ◎クリス・レフター『「もの」はどのようにつくられているのか？』オライリージャパン
 ◎D.A. ノーマン『誰のためのデザイン？』（増補・改訂版）新曜社
 ◎飯島洋一『終末的建築症候群』PARCO出版
 ◎安藤忠雄『安藤忠雄の都市彷徨』マガジンハウス



おすすめの場所
 建仁寺、比叡山延暦寺、東福寺、京都国立近代美術館、河井寛次郎記念館、国立国会図書館関西館



アドバイス
 ◎京都で学生生活を送ることに特別な意味があると思います。それは将来、活躍して京都以外の地にあったとしても、京都が都であった意味を徐々に知ることになるからです。京都で学生時代を過ごすなら、どこでも良いから名所名跡に行ってみておいてください。
 ◎美術作品や映画を観たり、音楽を聞いたり、本を手にとって読んでみたり、想像力を広げるために様々なものごとから、面白いと感じるものを吸収してください。
 ◎世の中の出来事、経済などの動向にも意識を向け、工業デザイナーとして、モノをこの世に生み出す意味や意義をしっかり考える必要があります。10年後、20年後の我々の為にしっかりと考え抜いてデザインすることは、デザインビジネスの基本だと思いますので、身の回りの些細な事もしっかりと知っておくように心がけてください。
 ◎時間を忘れるくらい何かに没頭してみましょう。建築の世界観は全てと繋がっているので何でも良いです。



おすすめの本
 ◎市原淳『もいもい』ディスカヴァー・トゥエンティワン
 「あかちゃん」が選んだあかちゃんのための本。表現の原点を「あかちゃんの視点」から考えてみるきっかけにしてみてください。楽しみながら、自分で問いをたてながら、自分の好奇心を育てましょう。
 ◎デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳』（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）早川書房
 これから経験する新しい大学生活。「経験する自分」っていったい何だろう？ 表現と心理学に興味のある人には特にオススメの本です。
 ◎ミシェル・ローリセラ『モルフォ人体デッサン』グラフィック社
 格好良いポーズを描きたい時、そのために知りたいちょっとした筋肉の付き方をわかりやすく描いている実用書。人体の捻じれなど、直立している絵からでは想像し難い構図を多数載せてくれています。
 ◎さそうあきら『マンガの方法論』朝日新聞出版
 京都精華大学マンガ学部教員による、マンガ創作を志す学生のための、アイデアの出し方・まとめ方についての実践的な入門書。
 ◎リチャード・ウィリアムズ『アニメーターズ・サバイバルキット』グラフィック社
 アニメーション制作に必要な物の考え方と、そのプロセスの名著。
 ◎常野啓『驚くほど楽になるマンガ背景技法』美術出版社
 背景など空間を描く技法はマンガやアニメを描く上で避けては通れません。しかしながら、その技法は多分に「数学的」な知識を必要とします。それを簡単に理解できるように解説しているのが本書です。パース技法の基本が勉強できます。
 ◎都留泰作『＜面白さ＞の研究』（角川新書）KADOKAWA
 「面白さ」とは何か？「エンタメの論理」をマンガやマンガを取り巻く映画・アニメ作品を題材に、文化人類学的な考え方も用いながら考察する。



おすすめのWEBサイト
 ◎「ヒトカク」
 人体を描くための基本が楽しく簡単に学べるサイトです。ノートと鉛筆（またはタブレット）を持って、毎日1ページずつ描いてみるのも良いでしょう。
 ◎「Pinterest」
 画像検索サイト。外国の人も多く使っており、Pixivに比べると全体的に絵のクオリティが大変良い。デザインや装飾なども見つけやすい。また、絵の描き方を説明しているものが多く出てくるが、大変参考になるものも多いです。これだけでも、十分なテキストになる。



おすすめの実験
 ◎映画館で上映されている作品
 できるだけ色々な映画を、映画館で観てみましょう。パソコンでながら観るのではなく、集中してみないと学べないものがあります。
 ◎<https://www.youtube.com/user/seikaanimation/videos>
 アニメーション学科学生の過去作品などが集まるセイカアニメの学生作品 YouTube ページです。



おすすめの場所
 「卒業・修了制作展」（京都精華大学）、「三鷹の森ジブリ美術館」（東京都）、「京都国際マンガミュージアム」（京都市）、「おもちゃ映画ミュージアム」（京都市）